

第30期第2四半期株主通信

(平成25年10月1日から平成26年3月31日まで)



セントラルサービスシステムグループ
CENTRAL SERVICE SYSTEMS GROUP

株式会社CSSホールディングス

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より当社グループにひとかたならぬご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
平成26年3月31日を以て連結第30期上半期を終了いたしましたので、ここに株主通信をお届けし、当社グループの事業概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度の業績の詳細につきましては記載のとおりであります。売上、利益と共に前年を上回ることとなり、おかげさまで増収・増益という結果となりました。

景気動向はこれまで、堅調に回復基調で推移してまいりましたが、消費税導入に伴う需要の反動減による景気減速予測もある中においては、当社グループを取り巻く環境もまだまだ予断を許さない状況にあります。

下半期につきましては、既存のお客様との関係をより一層強化しつつ、ここまでの実績をベースに更なる売上の確保と利益の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 林田 喜一郎

第2四半期の業績レポート

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスの「三本の矢」が、一体的に政策として取り組まれていることにより、家計や企業のマインドが改善しており、消費等の内需を中心として景気回復の動きは堅調に推移してまいりました。また、企業収益の増加から設備投資も持ち直しつつあり、春闘においては大手主要企業の多くでベアの回答も相次ぎ、雇用と所得環境が改善していく中で、景気回復も一層確かなものとなることが見込まれています。

3月においては、消費税増税を踏まえた駆け込み需要により消費・生産が拡大し、実質GDPの上昇が見込まれるものの、4月以降の需要の反動減は避けられない見通しであり景気回復の減速減少が予測されておりますが、9月辺りにかけ、緩やかに回復する見通しが出されております。今後は企業収益の拡大を賃金上昇、雇用・投資の拡大につなげ、消費や投資の増加を通じて更なる企業収益の拡大を促す好循環が実現することが期待されます。

当社グループの主要顧客であるホテル、金融機関、大型商業施設においても景況感の回復を背景として、それぞれ業績の回復、拡大が見込まれ、ホテルにおいては宴会需要の持ち直し、大型商業施設についてはリニューアルや新規出店も計画されています。

このような環境下、当社グループはお客様との関係を強化することで、既存事業での売上拡大を図るとともに、費用面においては、グループ内管理業務の更なる集中化等効率化を図ることで収益の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	6,686百万円
(前年同期比)	3.3%増)
連結営業利益	228百万円
(前年同期比)	22.1%増)
連結経常利益	238百万円
(前年同期比)	110.0%増)

連結四半期純利益	196百万円
(前年同期比)	140.6%増)

続きまして、当第2四半期連結累計期間における事業別の状況は次のとおりです。

スチュワード管理事業 株式会社セントラルサービスシステム（CSS）は、ホテル・レストランにおける食器洗浄業務を中心としたスチュワード管理を全国展開している当社グループの中核事業です。

当第2四半期連結累計期間においては、主要顧客であるホテルの高稼働に支えられ、既存事業所での売上は順調に推移いたしました。また、関西エリアにて2件の新規受注を獲得し前年を上回る収入を確保することができました。費用面においては、新規事業所開業に伴うユニシャルコスト及び高稼働に伴う労務費の増加により前年以上の執行となりました。

総合給食事業 株式会社センダン（SDN）は、従業員食堂を中心にレストラン運営などフードサービスに係る総合給食事業を全国展開しております。

当第2四半期連結累計期間においては、既存事業所での売上確保及び拡大に傾注してまいりましたが、新規受注の獲得が予定どおり進んでいない状況もあり、収入については前年を下回る結果となりました。費用面においては、大雪の影響に伴う野菜の高騰、輸入食材の値上がり等原価に及ぼす影響は大きかったものの、労務費の管理の徹底、小まめな調理、食材ロスの効率的管理等各現場での費用削減に努め、利益については前年を上回ることができました。

映像・音響機器等販売施工事業 東洋メディアリンクス株式会社（TML）は、日本のBGMのパイオニア企業としての音楽関連事業と、セキュリティー・システム、映像・音響システムの設計施工事業を幅広い顧客層に展開している当社グループの中核事業です。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き金融営業部門は堅調に推移いたしました。法人営

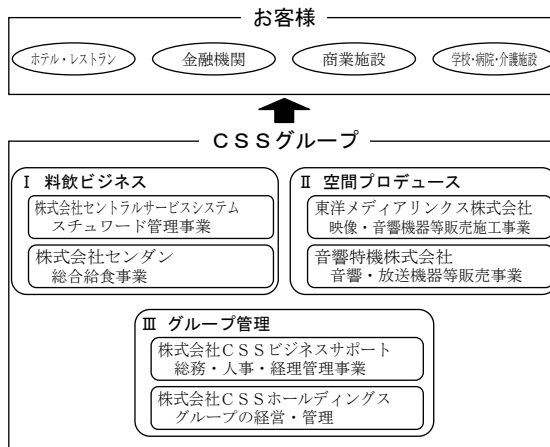
業部門、音楽営業部門は苦戦を強いられました。香り部門については、前年を上回る推移をしたものの、全体としては電設部門撤退による売上の減少をカバーするには至らず、収入については、前年を大きく下回ることとなりました。しかしながら、電設部門撤退により収益基盤が改善されたことから、粗利率は拡大しており、併せて販売管理費を効率的に執行することで費用を圧縮し、利益については前年を上回ることができました。

音響・放送機器等販売事業 音響特機株式会社（OTK）は、大型スピーカーやアンプ等のプロフェッショナル向け音響機器の輸入および販売事業を展開しております。

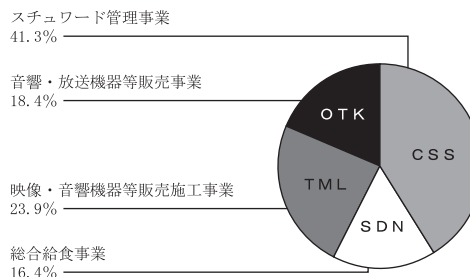
当第2四半期連結累計期間においては、米国及びヨーロッパの大型展示会の主要取引メーカーとの販売強化に向けたミーティングの開催、国内の展示会への出展及び国内外での技術研修会への参加等を通じ、販売力強化と技術力の向上に努めました。また、大阪営業所を移転し、更なる機動性の向上を図りました。この結果、収入については、消費税増税前の駆け込み需要の取り込みも貢献し、前年を大きく上回ることができました。費用面については、円安の影響を受け、輸入商品の原価が高止まりしましたが、国内商品の販売を増加させることで、前年を上回る粗利益額を確保すると共に、販売管理費等についても削減に注力いたしました。

総務・人事・経理管理事業 株式会社CSSビジネスサポート（CBS）は、総務・人事・経理業務をグループ会社より受託しております。

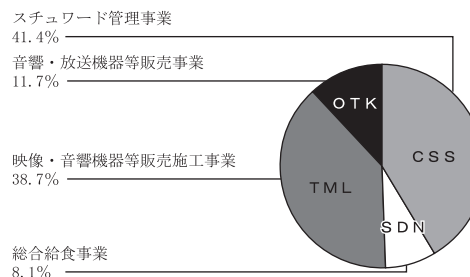
当第2四半期連結累計期間においては、引き続き外部企業の業務受託を継続し、グループ内においては、新たに稼働している新会計システムの効果的運用を図りました。また、TML、OTKを含めたグループ全体の管理業務の統合に着手し、更なるグループ内の業務効率化に邁進いたしました。



売上高構成比率（事業別）



営業利益構成比率（事業別）



四半期連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 2014年3月31日現在	前 期 末 2013年9月30日現在
資産合計	6,089,802	5,712,607
流動資産	3,745,723	3,332,569
固定資産	2,344,079	2,380,037
負債合計	4,147,036	3,946,840
流動負債	3,031,827	2,687,766
固定負債	1,115,209	1,259,074
純資産合計	1,942,766	1,765,766
株主資本	1,882,326	1,711,380
その他の包括利益累計額	60,439	54,385
負債・純資産合計	6,089,802	5,712,607

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 2013年10月1日から 2014年3月31日まで	前第2四半期末 2012年10月1日から 2013年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	220,268	186,243
投資活動によるキャッシュ・フロー	192,072	54,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,044	△288,863
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	312,297	△47,628
現金及び現金同等物の期首残高	917,267	1,948,261
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,229,565	1,900,632

■連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 2013年10月1日から 2014年3月31日まで	前第2四半期末 2012年10月1日から 2013年3月31日まで
売上高	6,686,971	6,475,387
売上原価	5,549,869	5,374,933
売上総利益	1,137,102	1,100,453
販売費及び一般管理費	908,481	913,143
営業利益	228,620	187,310
営業外収益	38,950	24,420
営業外費用	29,336	98,304
経常利益	238,234	113,425
特別利益	10,590	—
特別損失	0	683
税金等調整前四半期純利益	248,824	112,742
法人税、住民税及び事業税	48,815	26,634
法人税等調整額	3,815	4,557
四半期純利益	196,193	81,549

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

今後の取り組み

スチュワード管理事業

株式会社セントラルサービスシステム（CSS）

当事業は、引き続きスチュワード管理業務における高い品質を維持し、更なる専門性を追求してまいります。また、業界のリーディングカンパニーである強みを活かし、既存顧客との関係を維持・強化することでスチュワード周辺事業まで業務を拡大し、売上増加を目指します。

当事業の第二の柱として位置づける清掃事業については、客室清掃事業のみならず一般清掃まで業務範囲を拡大すると共に、既存事業所での業務内容の更なる効率化を図り、収益基盤の強化を行ってまいります。

また、新たに取り組んでいる旅館における業務については、早期に利益体質を確立し、実績を積むことで今後の多角化へつなげてまいります。

総合給食事業

株式会社センダン（SDN）

当事業は、主要顧客であるホテルの従業員食堂で培った経験とノウハウを更に向上させ、提案力を強化しながら、ホテルのみならず、その他の産業給食・レストラン運営まで含めた、積極的営業展開を図ります。

また、既存事業所においては、店長研修を通じて店舗運営のスキルアップを図ると共に、メニュー改善プロジェクトを通じてレシピの標準化と効率的な食材調達を実行すると共に、イベント・フェア等の充実により喫食率の向上に努めてまいります。

映像・音響機器等販売施工事業

東洋メディアリンクス株式会社（TML）

当事業は、部門別損益管理を徹底し、責任体制の明確化により、部門利益を確実に上げられる取り組みを継続してまいります。

金融営業部門については、既存顧客との関係を強化すると共に、新たに開設した関西営業所の体制を充実させることで関西市場への営業展開を図ります。

法人営業部門については、ホテルの顧客情報を共有化することによって、更なる営業展開を図ると共に、オリンピック関連物件への積極的アプローチを行ってまいります。

技術部門については、IPネットワークシステムの企画・構築・運用まで提案できる体制づくりと共に大手顧客別専任サポート体制強化による顧客満足の向上を図ってまいります。

音楽営業部門については、事業の選択と集中により事業の効率化を図り、併せてCD・BGMのリリース展開により、IMS顧客の拡大を図ってまいります。

「香り」事業については、「香り」とBGMを組み合わせたブランディング提案できる体制を整備しつつ、更なる顧客の拡大を図ることで、部門としての自立を目指します。

音響・放送機器等販売事業

音響特機株式会社（OTK）

当事業はプロオーディオ機器を取り扱う専門商社としての豊富な商品知識と最適な音響空間を実現する一体的な音響システム営業に向けた体制を強化してまいります。

また、引き続き全国の施工会社・設備会社とのネットワークを強みとして、全国規模での営業展開を強化し、売上拡大を目指します。

輸入ブランド商品については、新ブランド獲得へ向けての情報収集を強化すると共に、売上規模を拡大することで粗利益の向上により収益力の強化を図ってまいります。

商品センターについては統合移転を行い、効率的運用と賃料負担の軽減を行います。

総務・人事・経理管理事業

株式会社CSSビジネスサポート（CBS）

当事業は、引き続きグループ全体の総務・人事・経理業務の更なる効率化を図ると共に、新・会計システムを活用し、各事業会社の業績管理を支援すると共に、各種制度の見直しにも着手してまいります。

通期の業績見通し

2014年9月期の業績見通しについては、下記のとおりとなります。

通期につきましては、上半期の実績を基礎として、各事業がそれぞれ顧客との関係をより一層強化しながら、収益の確保に努めてまいります。

(単位：百万円)
創業30周年

	2010年9月期実績	2011年9月期実績	2012年9月期実績	2013年9月期実績	2014年9月期予想
売上高	12,421	11,603	12,549	12,326	13,041
営業利益	147	71	130	196	296
営業利益率	1.2%	0.6%	1.0%	1.6%	2.3%

株式の状況／会社概要

■大株主 (2014年3月31日現在)

	所有株数	持株比率
野口 緑	1,404,000株	27.83%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090802)	614,000株	12.17%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090803)	566,000株	11.22%
S・T E C株式会社	409,800株	8.12%
三瓶 秀男	130,800株	2.59%
原田 千壽	108,300株	2.14%
中島 章智	81,600株	1.61%
株式会社広美	80,000株	1.58%
広岡 東海子	70,000株	1.38%
C S S グループ従業員持株会	63,400株	1.25%

※持株比率は、自己名義株式(240,865株)を控除して計算のうえ、小数点第三位を四捨五入して表示しております。

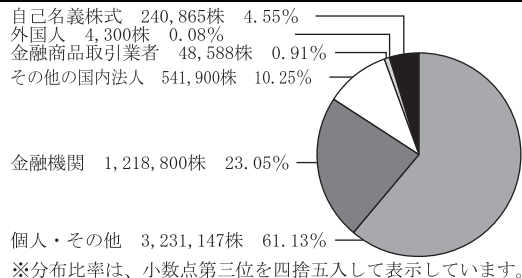
■会社概要 (2014年3月31日現在)

会 社 名	株式会社C S Sホールディングス
本社所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号
会 社 設 立	1984年(昭和59年)12月
資 本 金	393百万円
連結従業員数	4,773名(うち、パートナー(パート・アルバイト)4,381名)
役 員	取締役会長 野口 緑 代表取締役社長 林田 喜一郎 専務取締役 川勝 雄介 取締役 三瓶 秀男 取締役 磯邊 和彦 取締役 辻 勝太郎 取締役 森永 洋一郎 常勤監査役 山館 博康 監査役 越智 敦生 監査役 庄司 勝

■株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行可能株式総数	20,776,000株
発行済株式総数	5,285,600株
株主数	1,635名

■株式分布 (2014年3月31日現在)



株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会 毎年12月
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店にて行っております。

<住所変更等のお申出先について>

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

<未払配当金の支払について>

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。